ハザードチェッカー

兵庫県立大学応用情報科学研究科　有馬昌宏研究室
（連絡先：arima=ai.u-hyogo.ac.jp（=を半角＠にしてください））

特徴・アピールポイント（橙色の利用対象や機能は、今後の提供を検討中。公開データの制約で地域によって利用できない機能があります。）

①自然災害を避けるための避難行動にかかわる**防災・減災情報の情報品質の向上を目的に**、②日本全国、**どこでも**、③外国人**や障がい者**を含む**誰でも**、④**簡単な操作で**、⑤**現在地や**（住所、ランドマーク、地図で）指定した**任意の地点の**、⑥**自然災害**（津波、洪水、土砂災害、内水氾濫、高潮、地震）**からのハザードの有無と**、⑦**関連気象防災情報と**、⑧最寄りの**災害種別の指定緊急避難場所**と、⑨**選択した避難場所への避難方向を**、⑩テキストと記号と色とデジタル地図**と音声と振動**などで**危険性と対応避難場所がすぐに理解できるように示し**、⑪**洪水ナビなどの**新たに開発される API にも対応し**、⑫**自主防災組織や小中学校などで作成される**ローカルな防災マップも組み込め**、⑬**気象庁や国土交通省や**指定地点の属する**都道府県および市区町村の防災関連ウェブページにリンクがはられていて**、⑭**サイトにアクセスするだけですぐに利用できて平時でも緊急時でも避難に有用な情報が獲得できる**防災・減災情報のワンストップサービスを実現する**ウェブアプリ**。

利用方法

ステップ1　ウェブサイトへのアクセス

（事前登録やダウンロードやインストールは不要）

①QR コードから

②URL 入力「http://urx3.nu/zk2F」

③検索 「ハザードチェッカー」

④お気に入り・ブックマークへの登録

ステップ2　使用言語の選択と ハザードの有無と防災情報を確認したい地点の指定

ステップ3　結果の確認と避難の判断と行動

現在地あるいは指定地点のハザードの有無と気象防災情報が同時に文字と記号と警告色で表示されるので、地図を読めず、ハザードマップの凡例を理解できなくても、即座の避難判断に有効。洪水と土砂災害と津波のハザードマップを切り替えて表示でき、最寄りの指定緊急避難場所が災害種別に○×のリストと地図上に記号で表示されるので、表示される標高と合わせて、どこに避難するかの意思決定と実際の避難行動にも有効。国・自治体の防災ページにもリンク。

ステップ4　浸水到達余裕時間等の確認

浸水ナビが利用できる地点では、最大浸水深をもたらす破堤点が破堤したと想定して、浸水深とハイドログラフを建物と人物のイラストを使ってわかりやすく表示。最短時間で指定地点に浸水をもたらす破堤点を求め、避難のための余裕時間や排水完了までの予想時間も表示。